

天然ゼオライト市場 — 日本および世界の展望と将来機会

はじめに

天然ゼオライトは、火山灰や溶岩から形成される多孔質のアルミニケイ酸塩鉱物で、高い吸着性、イオン交換能、触媒特性を持つことで知られています。これらの特性から、廃水処理、土壤改良、動物飼料、建築材料など、多様な用途で利用されています。持続可能な素材として注目されており、環境負荷を低減する技術の普及に伴って、世界的に需要が増加しています。

世界の天然ゼオライト市場規模は2024年に6億2110万米ドルと評価された。市場は2025年の6億4760万米ドルから2032年までに8億8780万米ドルへ成長し、予測期間中に年平均成長率(CAGR)4.6%を示すと予測されている。



キーのリスト 自然ゼオライト企業がプロファイリングしました

- International Zeolite Corp.(カナダ)
- Maruti Mineral Industries(インド)
- Zeocem S.R.O.(スロバキア)
- imerys(フランス)
- ベアリバーゼオライト社(米国)
- 米国アンチモンコーポレーション(米国)
- Rota Mining Corporation(トルコ)
- Kmi Zeolite Inc.(米国)
- セントクラウドマイニング(米国)
- Zeotech Corporation(米国)

無料サンプルをダウンロード:

<https://www.fortunebusinessinsights.com/jp/%E5%95%8F%E3%81%84%E5%90%88%E3%82%8F%E3%81%9B/%E3%83%AA%E3%82%AF%E3%82%A8%E3%82%82%E9%83%8-0E3%82%82%0B5%0E3%83%0B3%0E3%83%097%0E3%83%0AB-0pdf/%E5%A4%0A9%0E7%084%0B6%0E3%082%0BC%0E3%082%0AA%0E3>

%83%A9%E3%82%A4%E3%83%88%E5%B8%82%E5%A0% %B4-105266

世界市場の現状と予測

- 世界の天然ゼオライト市場は、2024年に約 **6億2,110万米ドル** と評価されました。
- 2025年には約 **6億4,760万米ドル**、2032年には約 **8億8,780万米ドル** に成長すると予測されています。
- 予測期間(2025–2032年)の年平均成長率(CAGR)は約 **4.6%** です。

この成長を支える背景には、環境規制の強化、循環型経済への移行、そして持続可能な資源利用への需要増加があります。用途別では、特に 廃水処理・浄水 分野が最大シェアを占め、都市排水や産業廃水の処理ニーズの高まりにより市場成長を後押ししています。

農業(土壌改良、保水性向上)、動物飼料添加物、建築・建設資材など、多様なセグメントで利用が拡大している点も市場の成長に寄与しています。

用途別トレンド – 天然ゼオライトが選ばれる理由

◆ 廃水処理・水質浄化

天然ゼオライトは高い吸着能力とイオン交換能力を持つため、重金属やアンモニアなどの有害物質を効果的に除去できます。世界的な水質改善の需要増加により、この用途が市場を牽引しています。

◆ 農業・土壌改良

土壌の水分保持力や栄養保持力を高める土壌改良材として利用され、環境に優しい農業の推進や乾燥地帯での農作物生産を後押しします。土壌修復や有機農業への転換にも寄与しています。

◆ 動物飼料添加物

天然ゼオライトは飼料に混ぜることで毒素吸着、胃腸環境の改善、臭気軽減などの効果をもたらし、畜産分野の効率化と環境改善に貢献します。

◆ 建築・建設資材

グリーン建材の需要が高まる中、天然ゼオライトを利用した軽量コンクリートやポゾランセメントなどが注目されています。環境負荷の少ない建築材料として採用が進んでいます。

日本市場の状況と特徴

日本国内でも、環境規制の強化や持続可能な素材への関心の高まりから、天然ゼオライトの活用が広がっています。吸着性・イオン交換性を活かした水処理、農業、建設、さらにはヘルスケア分野での応用が進んでいます。

日本市場の特徴として次の点が挙げられます：

- 高品質・高純度素材への需要が強い
- 技術力の高さから高付加価値ゼオライト製品の開発が進む
- 国内外の環境対策プロジェクトにおける利用拡大
- 省エネルギー・CO₂削減需要に伴い、建材用途が増加

これらにより、日本市場は今後も安定した需要が見込まれる成長セグメントとなっています。

市場の課題と今後の留意点

天然ゼオライト市場には以下の課題があります：

- 鉱床の質・量にばらつきがあるため、品質が一定となりにくい
- 採掘・処理に伴う環境規制やコストが高まる可能性
- 合成ゼオライト、活性炭、シリカゲルなど代替素材との競争

これらの課題に対し、持続可能な採掘技術や品質管理の強化、高機能製品の開発が今後の鍵となります。

将来の展望とビジネスチャンス

天然ゼオライト市場は、今後以下のような分野で大きな成長機会が期待されます：

- 水質浄化インフラの強化
- 持続可能な農業への転換
- 環境対応型建設資材の普及
- 畜産物の品質向上と環境改善ニーズの拡大
- リユース・リサイクル技術の発展

特に、日本ではエコ素材の需要が高く、高機能ゼオライトの研究開発や新用途開拓が有望なビジネス領域として注目されています。

情報源：

<https://www.fortunebusinessinsights.com/jp/%E5%A4%A9%E7%84%B6%E3%82%BC%E3%82%AA%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%88%E5%B8%82%E5%A0%B4-105266>

まとめ

天然ゼオライトは、環境負荷を低減しながら幅広い産業を支える重要な天然素材です。世界市場は今後も堅調に成長する見通しであり、日本市場でも環境対策や持続可能性への取り組みを背景に需要が増加しています。

廃水処理、農業、建設、畜産など、多様な用途が成長を後押ししており、今後も多方面でビジネスチャンスが拡大すると考えられます。